

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	時折は買物等に出掛けているものの日常的にという点において職員の認識が余り無く実行できていなかった。	2Fなので気軽に階下の駐車場やホーム地区を散歩して歩けるようにしていきたい。	週2～3回は階下に下りるようにする。(申し送り等で記入する事でメンバーの偏りをなくす。)遠出に関しては年間予定表を立ててみる。	3ヶ月
2	40	利用者への作業内容をお願いする工夫が足りず、いつも同じ人になっている現状がある。他利用者の可能性も引き出していくようにする。	作業を細分化して関わる人をふやし、多くの人が作業に取り組める工夫を行っていく。	午前中の作業を見直し(人員配置)を行いホールを後半2人で形でより多くの方に声かけして、作業に参加してもらえるようにする。	6ヶ月
3	33	高齢者はいるが逼迫した状態ではない為、入居以来、終末について家族と具体的に話し合っていない。	家族の方に今後の希望をお聞きしながらホームでできる事、できない事を話して理解して頂く。	介護計画書の見直しを行う際に家族の方の意向を伺っていく事とする。	6ヶ月
4	20	面会の少ない方や、意思表示できない方へのアプローチ(関係継続の支援)が少ない。また、その人の意思を汲み取ることが難しい。	面会に訪れた家族や知人に働きかけ、今後も面会を奨励する。又、利用者の方の過去の話をついで、馴染みの場所へ出向いたりなど働きかけを行う。	独居の方は本人が望めば自宅をまわったり、近所を訪ねたりする。意思表示の出来ない方も家族や知人の方から得た情報で支援ができるよう個別に対応していく。	10ヶ月
5	5	運営推進会議は定期的に行っているが、市町村へは報告が多く、事業所の運営改善につながる働きかけなどは無かった。	市町村の方とより連携を深めていくようにする。	運営推進会議では単に報告だけではなくホームの問題点や悩みもあげ、一緒に考えてもらい(議論等)アドバイスをもらう。	10ヶ月
6	2	ホームが2Fにあり、入り口が若干分かりにくい、その前に地域の人に充分周知されていない点がある。事業所としても地域へ働きかけが弱かった。	地域の方へ少しでも周知していただける事業所になる。事業所として少しずつでも地域交流していきたい。	地域への外出を多めに行う。 職員の持てる力を地域で活かせるものがあれば参加する。 人手のいる行事にはボランティアをお願いする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。